

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第52期第2四半期（自 平成25年6月26日 至 平成25年9月25日）
【会社名】	ツインバード工業株式会社
【英訳名】	TWINBIRD CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野水 重明
【本店の所在の場所】	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084番地2
【電話番号】	0256(92)6111(代表)
【事務連絡者氏名】	業務管理本部副本部長 笠原 裕二
【最寄りの連絡場所】	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084番地2
【電話番号】	0256(92)6111(代表)
【事務連絡者氏名】	業務管理本部副本部長 笠原 裕二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) ツインバード工業株式会社東京支店 (東京都台東区元浅草2丁目6番6号) ツインバード工業株式会社大阪支店 (大阪府大阪市中央区北浜東1番22号)

(注) 東京支店及び大阪支店は、金融商品取引法の規定による縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して備えるものであります。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第2四半期連結 累計期間	第52期 第2四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自平成24年 3月26日 至平成24年 9月25日	自平成25年 3月26日 至平成25年 9月25日	自平成24年 3月26日 至平成25年 3月25日
売上高(千円)	6,118,834	5,773,038	12,396,562
経常利益又は経常損失()(千円)	62,600	152,188	324,088
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失()(千円)	42,892	103,026	150,869
四半期包括利益又は包括利益(千円)	198,668	237,534	540,923
純資産額(千円)	5,544,954	6,478,451	6,262,731
総資産額(千円)	8,808,765	9,742,300	9,475,754
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()(円)	4.92	11.81	17.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	62.9	66.5	66.1
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	279,526	400,885	219,095
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	246,801	254,558	450,200
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	238,528	11,558	312,169
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	701,906	1,247,136	1,084,808

回次	第51期 第2四半期連結 会計期間	第52期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 6月26日 至平成24年 9月25日	自平成25年 6月26日 至平成25年 9月25日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()(円)	5.87	0.32

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第51期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、第52期第2四半期連結累計期間及び第51期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は9,742百万円となり、前期末比266百万円増加しました。主な内訳は、現金及び預金が162百万円の増加、受取手形及び売掛金が312百万円の減少、商品及び製品が348百万円の増加であります。

負債は3,263百万円となり、前期末比50百万円増加いたしました。有利子負債残高は57百万円の増加となっております。

純資産は6,478百万円となり、前期末比215百万円増加いたしました。ヘッジ会計を適用している為替予約に関する繰延ヘッジ損益について、円安の進行に伴い117百万円増加しております。自己資本比率は66.5%となりました。

(2) 経営成績の分析

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は5,773百万円となり、前年同期比345百万円(5.7%)の減収となりました。当社の主力分野である家電量販チャンネル、及びギフトチャンネルにおける売上高がそれぞれ減収となりました。一方、TV通販やWEBチャンネル、及び業務用チャンネルにおいては、堅調に推移しております。

商品分野別については、他社との競合激化によりLEDを中心とした照明器具分野が大きく落ち込み、さらに当社の主力商品であるホームベーカリーの市場縮小の影響を受けた調理家電分野も減収となりました。一方、スティック型クリーナーを中心としたクリーナー分野、及び「コアンダエア」「スリムタワーファン」などの新たな季節商品を投入した生活家電分野は堅調な売上高を維持しております。また、前期より発売しております地上波デジタル放送を聴くことができる「手元スピーカー付き3バンドラジオ」の売上高が引き続き好調に推移しております。

営業利益は153百万円となり、前年同期比139百万円の減益となりました。当社の製造原価が昨年末からの円安進行の影響により前年同期比約15%増加するという強烈な逆風の中、為替予約によるヘッジ効果が大きく貢献し、さらに製造原価低減活動の推進、外部委託費用の内製化などの経費削減により、減益ではありますが営業利益を確保しております。

経常利益は152百万円となり、前年同期比214百万円の増益となりました。前第2四半期は為替予約の時価評価損失等による為替差損が284百万円発生するという特殊要因がありましたが、当第2四半期については円安の進行に伴いその影響がなくなり、前述のコスト削減効果により計画どおり黒字転換を図ることができました。

四半期純利益は103百万円となり、前年同期比145百万円の増益となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは400百万円の収入となり、前年同期比より680百万円の収入増加となりました。これは税金等調整前四半期純利益の増加199百万円、法人税等の支払額の減少453百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは254百万円の支出となり、前年同期比より7百万円の支出増加となりました。新製品生産用の金型に対する設備投資を中心に有形固定資産の取得として211百万円支出しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは11百万円の支出となり、前年同期比より250百万円の支出増加となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,247百万円となり、前期末から162百万円増加いたしました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、270百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,000,000
計	34,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月25日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,030,000	9,030,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	9,030,000	9,030,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月26日～ 平成25年9月25日	-	9,030,000	-	1,742,400	-	1,748,600

(6)【大株主の状況】

平成25年9月25日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(株)双栄	新潟県三条市西本成寺1丁目30-31	1,190	13.17
ツインバード従業員持株会	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2	524	5.80
(株)第四銀行	新潟県新潟市中央区東堀前通7-1071-1	436	4.83
野水 敏勝	新潟県三条市	387	4.29
野水 秀勝	新潟県三条市	380	4.21
ツインバード工業(株)	新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2	304	3.37
(株)北越銀行	新潟県長岡市大手通2-2-14	276	3.06
野水 重勝	新潟県三条市	270	3.00
深江 今朝夫	大阪府堺市	269	2.98
野水 重明	新潟県三条市	263	2.91
計	-	4,299	47.62

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月25日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 304,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,718,000	8,718	-
単元未満株式	普通株式 8,000	-	-
発行済株式総数	9,030,000	-	-
総株主の議決権	-	8,718	-

【自己株式等】

平成25年9月25日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ツインバード工業(株)	新潟県燕市吉田西太田 字潟向2084-2	304,000	-	304,000	3.37
計	-	304,000	-	304,000	3.37

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月26日から平成25年9月25日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月26日から平成25年9月25日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月25日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月25日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,461,008	1,623,336
受取手形及び売掛金	2,182,189	1,869,292
商品及び製品	1,329,840	1,677,952
仕掛品	79,527	141,389
原材料及び貯蔵品	174,861	219,526
為替予約	889,998	661,054
その他	276,326	289,176
貸倒引当金	15,927	13,834
流動資産合計	6,377,825	6,467,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,413,751	3,417,259
減価償却累計額	2,714,447	2,735,721
建物及び構築物(純額)	699,303	681,537
機械及び装置	645,299	644,740
減価償却累計額	608,460	609,097
機械及び装置(純額)	36,838	35,643
金型	1,655,081	1,661,348
減価償却累計額	1,504,303	1,535,677
金型(純額)	150,777	125,670
工具、器具及び備品	440,120	451,373
減価償却累計額	359,162	367,968
工具、器具及び備品(純額)	80,957	83,405
土地	1,198,294	1,198,294
建設仮勘定	14,478	37,247
その他	700,782	850,754
減価償却累計額	387,330	489,555
その他(純額)	313,451	361,199
有形固定資産合計	2,494,102	2,522,997
無形固定資産	122,067	113,821
投資その他の資産		
投資有価証券	338,449	357,297
その他	149,234	286,195
貸倒引当金	5,924	5,906
投資その他の資産合計	481,759	637,586
固定資産合計	3,097,928	3,274,405
資産合計	9,475,754	9,742,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月25日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月25日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	246,706	268,013
短期借入金	300,000	-
1年内償還予定の社債	110,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	483,034	618,906
リース債務	201,593	250,399
未払法人税等	12,387	51,236
賞与引当金	66,167	66,167
製品補修対策引当金	53,701	49,888
その他	628,432	624,837
流動負債合計	2,102,023	2,029,449
固定負債		
社債	270,000	220,000
長期借入金	429,418	674,373
リース債務	210,653	198,960
退職給付引当金	32,940	69,357
役員退職慰労引当金	147,504	35,603
資産除去債務	20,100	20,100
その他	383	16,005
固定負債合計	1,110,999	1,234,399
負債合計	3,213,023	3,263,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,742,400	1,742,400
資本剰余金	1,748,600	1,748,600
利益剰余金	2,359,057	2,440,269
自己株式	38,170	38,170
株主資本合計	5,811,887	5,893,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,642	51,686
繰延ヘッジ損益	381,272	498,643
為替換算調整勘定	11,928	35,021
その他の包括利益累計額合計	450,843	585,351
純資産合計	6,262,731	6,478,451
負債純資産合計	9,475,754	9,742,300

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月26日 至 平成24年 9 月25日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月26日 至 平成25年 9 月25日)
売上高	6,118,834	5,773,038
売上原価	4,140,419	4,144,330
売上総利益	1,978,415	1,628,707
販売費及び一般管理費	1,685,733	1,475,552
営業利益	292,681	153,154
営業外収益		
受取利息	410	176
受取配当金	3,766	4,178
為替差益	-	57,330
その他	3,326	2,599
営業外収益合計	7,503	64,284
営業外費用		
支払利息	10,255	8,452
売上割引	63,050	56,735
為替差損	284,403	-
その他	5,076	64
営業外費用合計	362,785	65,251
経常利益又は経常損失 ()	62,600	152,188
特別利益		
固定資産売却益	395	3
リコール損失引当金戻入益	8,942	-
特別利益合計	9,337	3
特別損失		
固定資産処分損	412	5,091
減損損失	-	294
その他	-	627
特別損失合計	412	6,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	53,674	146,177
法人税等	10,782	43,150
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	42,892	103,026
四半期純利益又は四半期純損失 ()	42,892	103,026

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月26日 至平成24年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月26日 至平成25年9月25日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	42,892	103,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,054	5,956
繰延ヘッジ損益	148,911	117,370
為替換算調整勘定	3,190	23,093
その他の包括利益合計	155,776	134,508
四半期包括利益	198,668	237,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,668	237,534

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月26日 至平成24年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月26日 至平成25年9月25日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	53,674	146,177
減価償却費	170,594	193,316
減損損失	-	294
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,516	2,111
賞与引当金の増減額(は減少)	57,510	0
退職給付引当金の増減額(は減少)	25,112	36,417
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,200	111,901
リコール損失引当金の増減額(は減少)	13,144	-
製品補修対策引当金の増減額(は減少)	90,075	3,812
製品交換損失引当金の増減額(は減少)	134,615	-
受取利息及び受取配当金	4,176	4,354
支払利息	10,255	8,452
為替差損益(は益)	235,574	257,211
投資有価証券評価損益(は益)	-	627
固定資産売却損益(は益)	395	3
固定資産処分損益(は益)	412	5,091
売上債権の増減額(は増加)	740,697	312,909
たな卸資産の増減額(は増加)	423,125	457,565
その他の資産の増減額(は増加)	11,244	18,047
仕入債務の増減額(は減少)	86,613	21,306
その他の負債の増減額(は減少)	127,521	11,469
小計	184,231	408,633
利息及び配当金の受取額	4,160	4,341
利息の支払額	10,816	8,231
法人税等の支払額	457,103	3,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	279,526	400,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	232,713	211,069
有形固定資産の売却による収入	395	534
無形固定資産の取得による支出	4,580	4,918
投資有価証券の取得による支出	9,903	38,955
その他の支出	-	708
その他の収入	-	558
投資活動によるキャッシュ・フロー	246,801	254,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	300,000
長期借入金の返済による支出	245,361	319,173
長期借入れによる収入	370,000	700,000
社債の償還による支出	30,000	60,000
社債の発行による収入	300,000	-
セール・アンド・リースバックによる収入	32,091	106,180
リース債務の返済による支出	66,057	116,744
自己株式の取得による支出	369	-
配当金の支払額	21,775	21,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	238,528	11,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,814	27,560
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	306,614	162,328

現金及び現金同等物の期首残高	1,008,520	1,084,808
現金及び現金同等物の四半期末残高	701,906	1,247,136

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月26日 至 平成24年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月26日 至 平成25年9月25日)
物流費	251,053千円	249,277千円
製品補修費	116,010	59,671
製品補修対策引当金繰入	18,336	2,003
広告宣伝・販促費	135,873	66,851
給与手当	522,206	509,714
賞与引当金繰入	45,712	56,150
役員退職慰労引当金繰入	9,700	9,131
退職給付費用	20,179	29,544
福利厚生費	103,094	108,026
旅費交通費	82,480	66,736
貸倒引当金繰入	4,516	3,463
業務委託料	140,368	82,048

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月26日 至 平成24年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月26日 至 平成25年9月25日)
現金及び預金勘定	1,078,106千円	1,623,336千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	376,200	376,200
現金及び現金同等物	701,906	1,247,136

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月26日 至 平成24年9月25日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月20日 株主総会	普通株式	21,816	2.5	平成24年3月25日	平成24年6月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	21,814	2.5	平成24年9月25日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月26日 至 平成25年9月25日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 株主総会	普通株式	21,814	2.5	平成25年3月25日	平成25年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	21,814	2.5	平成25年9月25日	平成25年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月26日 至 平成24年9月25日)

当社グループは、報告セグメントが家電製品事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月26日 至 平成25年9月25日)

当社グループは、報告セグメントが家電製品事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月26日 至平成24年9月25日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月26日 至平成25年9月25日)
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額()	4円92銭	11円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	42,892	103,026
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	42,892	103,026
普通株式の期中平均株式数(株)	8,726,164	8,725,843

(注)前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

(1)決算日後の状況

平成25年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

配当金の総額.....21,814千円

1株当たりの金額.....2円50銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月3日

(注)平成25年9月25日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いをおこないます。

(2)訴訟

当社は、平成24年8月3日付にて扇風機「コアングエア」及びその派生機種に関し、バルミューダ株式会社より同社保有特許権及び意匠権の侵害に関する損害賠償請求及び扇風機「コアングエア」及びその派生機種の製造及び販売の差止請求等にかかる訴訟を東京地方裁判所に提起されました。

当社といたしましては、同社が主張する特許権及び意匠権を侵害している事実はまったくないと考えており、弁護士及び弁理士等と協議のうえ、法廷の場において特許権及び意匠権侵害に当たらないことを強く主張しております。なお、本件訴訟は現在も審理がおこなわれております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

ツインバード工業株式会社

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 健文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているツインバード工業株式会社の平成25年3月26日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月26日から平成25年9月25日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月26日から平成25年9月25日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ツインバード工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月25日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。